

강헌

죄과 명리학

이른세미나 VI

命理

제10강

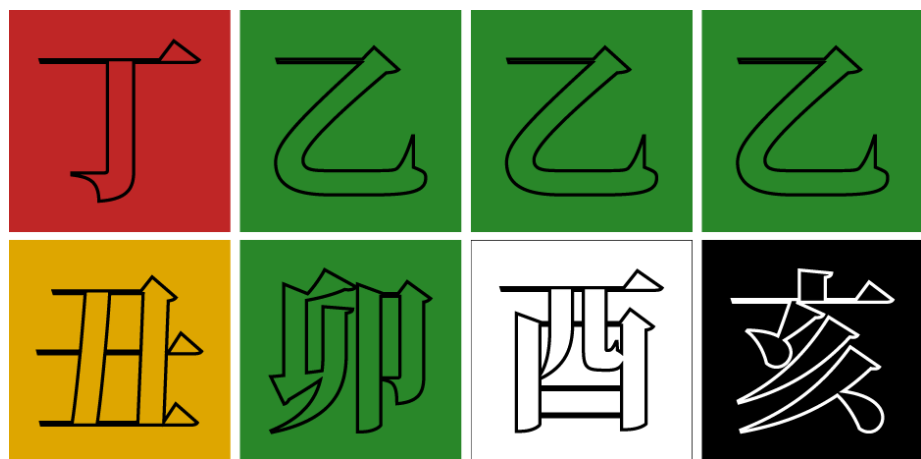
자평진전 子平眞詮

卷五

論偏官

煞以攻身. 似非美物. 而大貴之格. 多存七煞. 蓋控制得宜.
煞爲我用. 如大英雄大豪傑. 似難駕馭. 而處之有方.
則驚天動地功. 忽焉而就. 此王侯將相所以多存七煞也.

七殺之格局亦不一. 煞用食制者.
上也. 煞旺食強而身健. 極為貴格.



極等之貴也

煞用食制. 不要露財透印. 以財能轉食生煞.
而印能去食護煞也. 然而財先食後. 財生煞而食以制之.
或印先食後. 食太旺而印制之. 格成大貴.

如脫丞相命.

戊	丙	甲	壬
戌	戌	辰	辰

辰中暗煞. 壬以透之. 戊坐四支. 食太重.
而透甲印以損過, 豈非貴格. 若煞強食淺而印露. 則破局矣.

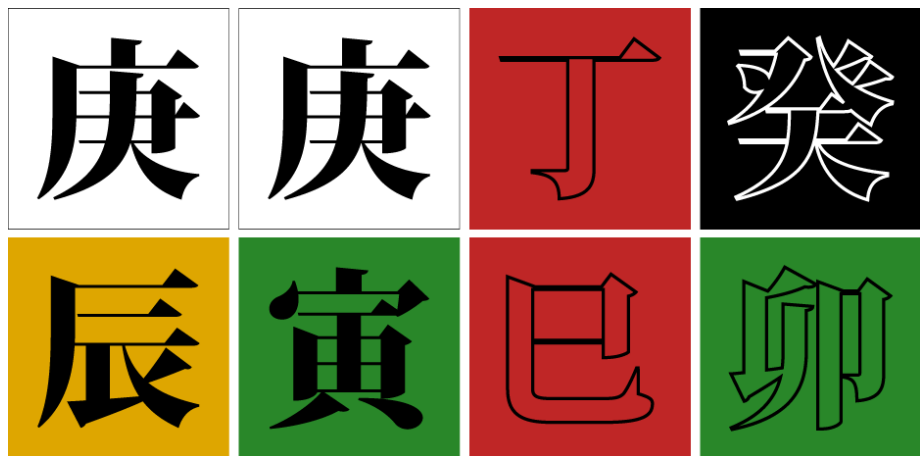
有煞而用財者. 財以黨煞. 本非所喜.
而或食被印制. 不能伏煞. 而財以去印存食. 便為貴格.

如周丞相命

庚	丁	甲	戊	庚	己	戊	丁	丙	乙
戌	未	子	戌	午	巳	辰	卯	寅	丑

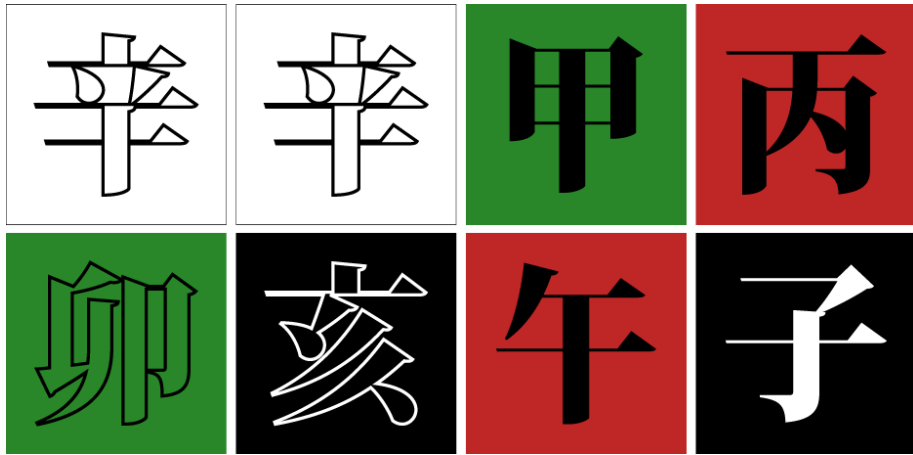
戊被甲制. 不能伏煞. 時透庚財. 即以洩食者, 生不足之煞.
生煞即以制印. 兩得其用. 尤為大貴.

有煞而雜官者. 或去官. 或去煞. 取清則貴.
如岳統制命.



去官留煞也。夫官爲貴氣。去官何如去煞。
豈知月令偏官。煞爲用而官非用。各從其重。
若官格雜煞而去官留煞。不能如是之清矣。

如沈郎中命。



子沖午而剋煞。是去煞留官也。

論偏官取運

偏官取運. 卽以偏官所成之局分而配之.
煞用食制. 煞重食輕. 則助食. 煞輕食重.
則助煞. 煞食均而日主根輕.
則助身. 忌正官之混雜. 畏印綬之奮食.

煞無食制而用刃當煞. 煞輕刃重. 則喜助煞. 刃輕煞重.
則宜制伏. 無食可奪. 印運何傷. 七煞既純. 雜官不利.

論傷官

傷官雖非吉神. 實爲秀氣. 故文人學士.
多於傷官格內得之. 而夏木見水. 冬金見火.
則又爲秀之尤秀者也. 其中格局此他格多.
變化尤多. 在查其氣候. 量其強弱. 審其喜忌.
觀其純雜. 微之大微. 不可執也.

故有傷官用財者. 蓋傷不利於官. 所以爲凶.
傷官生財. 則以傷官爲生. 生官之具.
轉凶爲吉. 故最利. 只要身強而財有根. 便爲貴格.



史春芳命也

有傷官佩印者. 印能制傷. 所以爲貴.
反要傷官旺. 身稍弱. 始爲秀氣.

如李羅平章命.

壬	甲	丙	壬
申	午	午	申

傷官旺. 印根深. 身又弱. 又是夏木逢潤.
其秀百倍. 所以爲一品之貴. 然印旺根深.
不必多見. 偏正疊出. 反爲不秀.
故傷輕身重而印綬多見. 貧窮之格也.

論傷官取運

傷官取運. 卽以傷官所成之局. 分而配之. 傷官用財. 財旺身輕. 則利印比. 身強財淺. 則喜財運. 傷官亦宜. 傷官佩印. 運行官煞爲宜. 印運亦吉. 傷食不礙. 財地則凶.

傷官帶煞. 喜印忌財. 然傷重煞輕. 運喜印而財亦吉. 惟七煞根重. 則運喜食傷. 印綬神旺亦吉. 而逢財爲凶矣.

論陽刃

陽刃者劫我正財之神. 乃正財之七煞也.
祿前一位. 惟五陽有之. 故爲陽刃.
不曰劫而曰刃. 劫之甚也. 刃宜伏制.
官煞皆宜. 財印相隨. 尤爲貴顯.
夫正官而財印相隨美矣. 七殺得之. 夫乃甚乎.
豈知他格以煞能傷身. 故喜制伏.
忌財印. 陽刃用之. 則賴以制刃.
不怕傷身. 故反喜財印. 忌制伏也.

陽刃用官. 透刃不慮. 陽刃露煞. 透刃無成. 蓋官能制刃.
透而不爲害. 刃能合煞. 則有何攻.
如丙生午月. 透壬制刃而又露丁. 丁與壬合.
則七煞有貪合忘剋之意. 如何制刃. 故無功也.

更若陽刃用財. 格所不喜. 然財根深而用傷食. 以轉刃生財.
雖不比建祿月劫. 可以取貴. 不然. 則刃與財相搏. 不成局矣.

論陽刃取運

陽刃用官. 則運喜助官. 然命中官星根深.
則印綬比劫之方. 反爲美運.
但不喜傷食合官耳.

陽刃用煞. 煞不甚旺. 則運喜助煞.
煞若太重. 則運喜身旺印綬. 傷食亦不爲忌.

論建祿月劫

祿格用官干頭透出爲寄. 又要財印相隨.
不可孤官無輔. 有用官用印護者.

壬	丁	丙	丁
寅	巳	午	酉

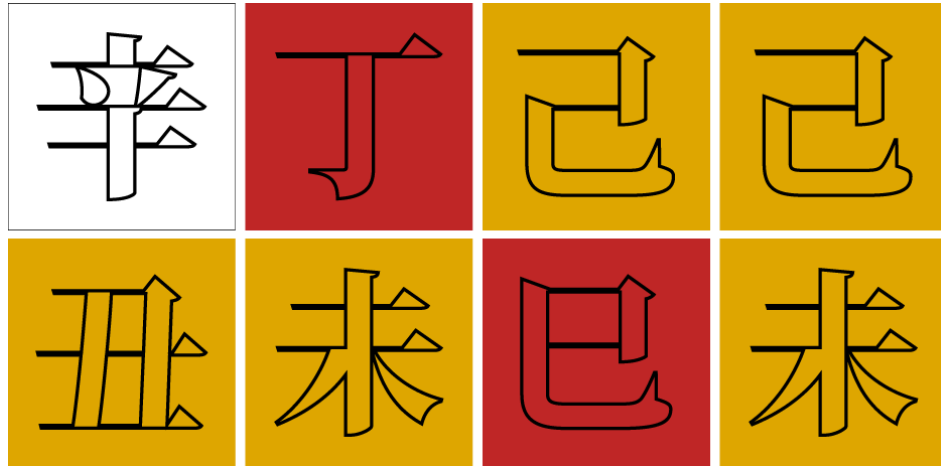
이지부의 命

有官而兼帶財印者. 所謂身強值三奇. 尤為貴氣.
三奇者, 財官印也. 只要而官隔之.
使財印兩不相傷. 其格便大.
祿劫用財. 須帶食傷. 蓋月令為劫而以財作用.
二者相剋. 必以傷食化之. 始可轉劫生財.



장도통의 명

至於化劫爲財. 與化劫爲生. 尤爲秀氣.



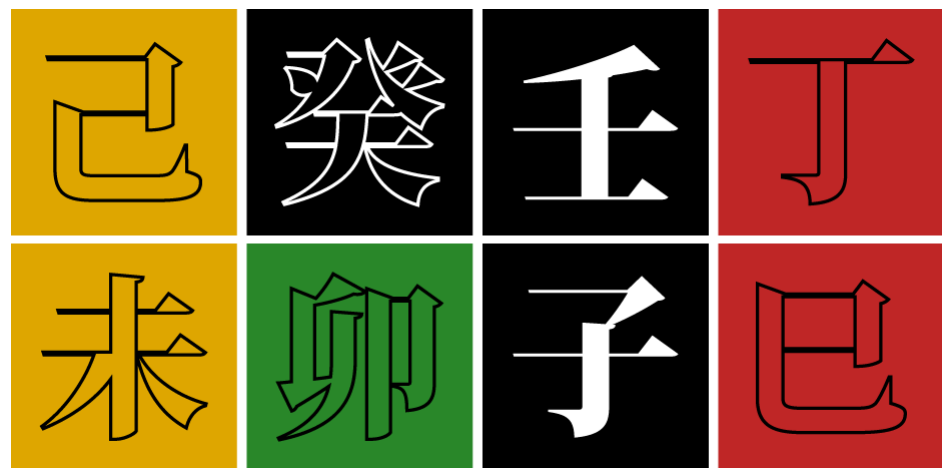
丑與巳會. 卽以劫財之火爲金局之財.
安得不爲大貴. 所謂化劫爲財也.

고상서의 명.

甲	庚	甲	庚
申	子	申	子

即以劫財之金. 化爲生財之水. 所謂化劫爲生也.

祿劫用煞. 必須制伏.



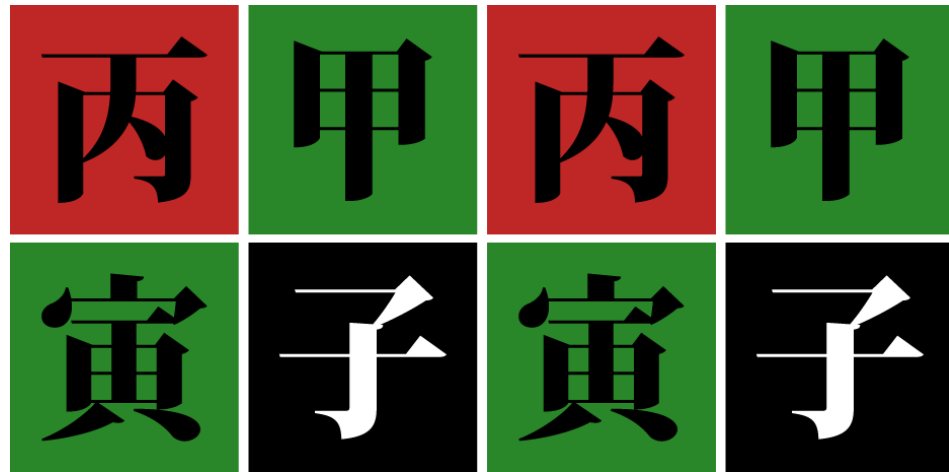
壬合丁財以去其黨煞. 卯未會局以制伏是也.

至用煞而又帶財. 本爲不美. 然能去煞存財. 又成貴格.



合煞存財. 袁內閣命是也.
원내각의 명

其祿劫之格. 無財官而用傷食. 洩其太過. 亦爲秀氣.
唯春木秋金. 用之則貴. 蓋木逢火則明. 金生水則靈.
장상원의 명



木火通明也.

庚	庚	庚	癸
辰	子	申	卯

乙	甲	癸	壬	辛
丑	子	亥	戌	酉

金水相涵也。

若夫用官而孤官無輔. 格局便小.
難於取貴. 若透食傷. 便爲破格.
然亦有官傷竝透而貴者. 何也.



庚合乙而去傷存官. 王總兵命也.
왕총병의 명

用官煞重而無制伏. 運行制伏. 亦可發財.
但不可官煞太重. 致令身危也.

論建祿月劫取運

祿劫取運. 卽以祿劫所成之局.
分而配之. 祿劫用官. 印護者喜財.
怕官星之逢合. 畏七煞之相乘.
傷食不能爲害. 劫比未卽爲凶.

祿劫而用傷食. 財運最宜. 煞亦不忌.
行印非吉. 透官不美. 若命中傷食太重.
則財運固利. 而印亦不忌矣.

적천수

제12장 성정

사주화왕(四主火旺) - 사주에 화기(火氣)가 넘칠 때

火烈而性燥者

화열이성조자

遇金水之激

우금수지격

사주에 화(火)가 강하여 그 사람의 성격이 메마르고 조급한 것은
금(金)과 수(水)가 화(火)의 기운을 거슬러 부딪치기 때문이고

사주화왕에 습토(濕土)가 있는 경우



사주수왕(四主水旺) - 사주에 수기(水氣)가 넘칠 때

水奔而性柔者

수분이성유자

全金木之神

전금목지신

사주에 수(水)가 넘쳐 내달려도 그 사람의 성격이 화평하고 순할 수 있는 것은 오로지 금(金)과 목(木)을 온전하게 갖추고 있는 덕분이다

사주수왕에 금(金)을 용신으로 하여 그 기세에 순응한 경우

庚	壬	甲	癸
子	申	子	亥

丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥

목화상관(木火傷官) - 약(弱)한 목(木) 일주가 여름에 태어났을 때

木奔南而軟怯

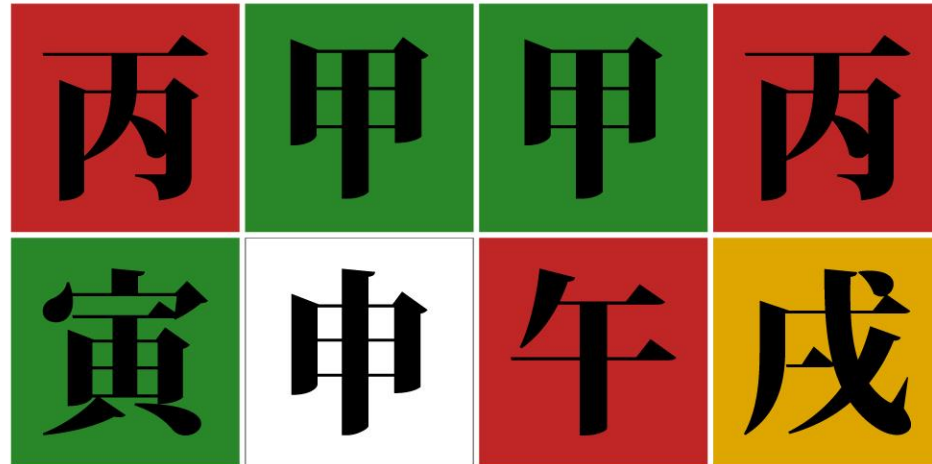
목분남이연겁

목(木)이 남방(南方)으로 내달리면(火를 보면) 성격이 연약하고 겁이 많으며

목화상관에 금수(金水)가 함께 있는 경우



목화상관에 금(金)만 있는 경우



금왕우수(金旺遇水) · **금쇠수왕**(金衰水旺)

金見水而流通

금견수이류통

금(金)이 수(水)를 만나면 그 기(氣)를 흘려보내 통하게[流通, 유통] 된다

왕(旺)한 금(金) 일주가 수(水)를 만나는[金旺遇水, 금왕우수] 경우

乙	庚	癸	甲
酉	子	酉	申

辛	庚	己	戊	丁	丙	乙	甲
巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌

수왕우화(水旺遇火) - 왕(旺)한 수(水) 일주가 화(火)를 만났을 때

最拗者西水還南

최요자서수환남

성질이 가장 고집스럽고 비뚤어지는 것은
서방(西方) 즉 가을의 물이 남방(南方)으로 돌아가 화(火)를 만난 것이고

가을의 물이 남방(南方)인 화(火)를 만난 경우

丙	壬	庚	癸
午	子	申	亥

壬	癸	甲	乙	丙	丁	戊	己
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未

화왕우수(火旺遇水) - 왕(旺)한 화(火) 일주가 수(水)를 만났을 때

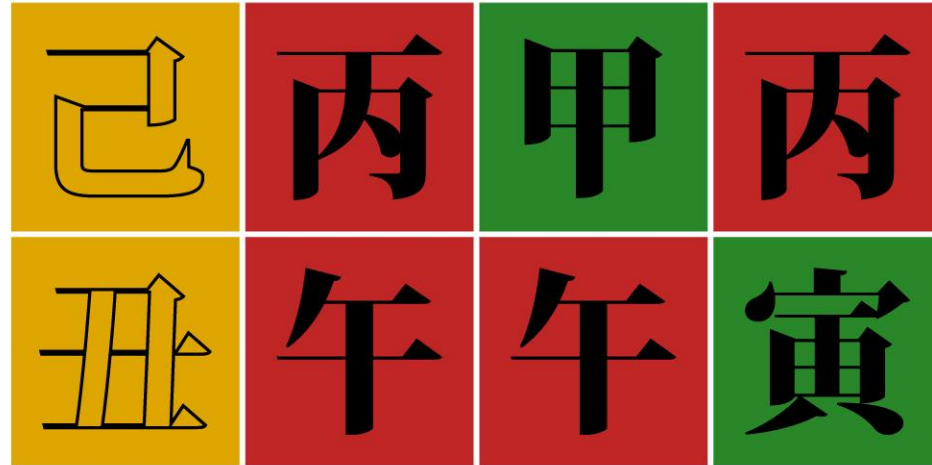
至强者東火轉北

지강자동화전북

성질이 지극히 굳센 것은

동방(東方) 즉 봄의 불이 북방(北方)으로 돌아가 수(水)를 만난 것이다

사주화왕(四主火旺)에 습토(濕土)가 있는 경우



양명우금(陽明遇金)

陽明遇金

양명우금

鬱而多煩

울이다번

사주에 환하고 밝은 기운이 가득한데 금(金)을 만나면
그 사람은 우울하고 번민이 많으며

양명우금의 사주가 운(運)이 남방(南方)으로 흐른 경우

